



町の財政状況は？

徐々に改善の方向

防災について

建物内での難聴問題も解決。

大木 防災行政無線難聴対策として280メガヘルツ

放送信局の整備と防災ラジオの配布事業を進めているが、現在と比較して、どのような効果が期待できるのか。

町長 これまでのシステムでは、長年屋外の難聴が課題でありましたが、

今年度は280メガヘルツを利用した屋外子局の整備と高性能スピーカーの導入により対策が図られるものと考えています。また、防災ラジオの導入配布により、建物内での難聴問題も解決するものと考えております。

学校給食費問題について

意見交換を行い、連携した対策を図る。

大木 小・中学校の学校給食費の未納や滞納の学校別の件数と金額は、それについての改善策と対応策は。

教育長 各小中学校の未納額については、中畑小、三神小学校にはありませんが、平成27年度5

月末現在、矢吹小11件、約27万円、善郷小10件、約22万円、矢吹中19件、約34万円の未納があります。改善対策については、「矢吹町学校給食費未納対策委員会」において、状況の確認や未納解消等について、意見交換を行っているところと図っています。



その他の質問

・健全財政を維持しつつ、町民の要望に、どう応えるのか
・防災施設を使った防災訓練の実施について

町の財政について

健全な財政運営が図られている。

大木 町の実質公債費比率、将来負担比率、借金の残高及び税収は、財政再建3ヶ年当時と比べ、どのように変化し、改善されているのか。

町長 実質公債費比率は、平成19年度24.98%、平成25年度16%。将来負担比率は、平成19年度183%、平成25年度141.6%です。起債残高は、平成19年度末で81億3千5百万円、平成26年度末で約78億9千万円です。町民税等の税収は、平成19年度で約21億2千8百万円、平成26年度末約22億1千8百万円となっています。いずれにおいても、継続的に健全な財政運営が図られております。



防災無線送信局と防災ラジオ